

立野ダム『定礎』

実施日: 令和 3年 5月22日 (土)

場 所: 立野ダム建設現場

概 要: ダムの本格的な築造にあたり、堤体に礎石を納め、ダムの永久堅固と安泰を祈願する「定礎」を執り行いました。

新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で、来賓は招かず、事務所職員及び施工業者の最小限の人数で実施しました。

■ 定礎の位置

堤体中央ブロックの右岸側に隣接する8ブロックが定礎の位置です（写真中の赤丸）



① 礎石（そせき）の設置

8ブロック低標高部の中央付近に礎石が設置されました。



② 鎮定の儀（ちんていのぎ）

設置された礎石を固めるため、モルタルを礎石の基礎に入れる儀式です。工事を進める道筋をつけるという意味があります。



③ 齋鏝の儀（いみごてのぎ）

礎石の周りに入れられたモルタルを鏝で均す儀式です。鎮定の儀でつけられた道を均すという意味があります。



立野ダム『定礎』

④ 斎槌の儀 (いみづちのぎ)

槌で礎石をしっかりと打ち据える儀式です。斎鍔の儀で均された道をさらに強固なものにするという意味があります。



⑤ メッセージ石の埋納(1)

白川沿川の小学校の皆さんに夢や願いごと、ダムへの思いなどを書いていただいたメッセージ石を礎石の周りに納めました。



⑥ 埋納の儀 (まいのうのぎ)

クレーンに吊るされたバケツからコンクリートを投入し、礎石と堤体が一体となるよう埋め込む儀式です。



⑦ メッセージ石の埋納(2)

コンクリート投入後、メッセージストーン（白川沿川の小学校8校分）を埋納しました。



⑧ 完了 (コンクリート締固め後)

